

第 18 期末 (2022 年 8 月 31 日)	
基準価額	25,394 円
純資産総額	17,037 百万円
第 18 期	
騰落率	△9.6%
分配金 (税込) 合計	0 円

(注 1) 基準価額は1万口当たりで表示しています。
(注 2) 純資産総額の単位未満は切り捨て表示しています。
(注 3) 騰落率は小数点以下第2位を四捨五入しております。

- 投信法の改正により、2014 年 12 月以降、従来の運用報告書に代えて交付運用報告書を交付することと変更されております。
- 本交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、ありがとう投信株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、右記お問合せ先までお問い合わせください。

【運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法】
右記ホームページにアクセス頂き、「ありがとうファンド」－「運用状況・レポート」－「運用報告書」とお進みください。

ありがとうファンド

(愛称：『ファンドの宝石箱』)
追加型投信/内外/資産複合

交付運用報告書

第 18 期 (決算日 2022 年 8 月 31 日)
作成対象期間：2021 年 9 月 1 日～2022 年 8 月 31 日

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、皆様の「ありがとうファンド」は、2022 年 8 月 31 日に第 18 期の決算を行いました。第 18 期も当ファンドは、長期国際分散投資で世界経済及び企業の成長を享受すべく投資先を厳選して運用を行って参りました。

ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。



ありがとう投信
Arigato Asset Management inc.

東京都千代田区内神田 2-15-9 The Kanda 282
ホームページ <https://www.39asset.co.jp>

◆お問合せ先

ありがとう投信株式会社

TEL. 0800-888-3900 (フリーコール)

受付時間：8:30～17:30 (土日祝日を除く)

お客様へのメッセージ

長谷 俊介（代表取締役社長）



皆さまのありがとうファンドは8月末に第18期決算を行いました。先行き不透明なマーケット環境の中、おかげさまで無事に18周年を迎えることができました。これもひとえに皆さまのご支援の賜物であると感謝しております。誠にありがとうございます。

この1年間を振り返ってみますと、昨年末までと今年年初からでマーケット環境はガラッと大きく変わりました。世界株式市場は昨年末まで史上最高値を更新して上昇を続けましたが、今年年初からは一転して下落調整局面が続いております。

インフレ高進リスクが高まり、各国中央銀行は金融政策を変更して利上げ・金融引締めに舵を切ったことにより、特にコロナ禍で大きく上昇したバリュエーションの高いグロース株を中心に大きく下落しました。さらにロシアによるウクライナ侵攻によって地政学リスクが高まり、資源エネルギー価格、原材料・食糧価格の高騰、利上げによる景気後退懸念から世界株式市場は大きく調整しました。そのような中でありがとうファンドの年間騰落率は-9.6%の下落となりました。

今期は前期まで大きく上昇していた反動もあり相対的に出遅れる運用成果となりましたが、弊社はこれからも短期的な市場変動に惑わされることなく、世界経済の成長及び企業の利益成長の恩恵を享受すべく長期・国際分散・厳選投資で資産運用の王道を歩んで参ります。

真木 喬敏（ファンドマネージャー）



当ファンドが主に投資している成長企業は足元の主要国の**利上げ**を受け、バリュエーション面で大きく調整しました。また、**コロナ禍でのサプライチェーンの混乱**やウクライナ戦争などの地政学リスクによる資源価格高騰により恩恵を受ける企業への投資割合が比較的低位だったことも、当ファンドのパフォーマンスにとってマイナスに働きました。このような投資環境ではありますが、当ファンドの運用方針は変わらず、引き続き世界中の成長企業を中心に投資を継続していきます。私が毎月**厳選投資銘柄紹介ブログ**で解説してきた企業のビジネスモデルは地味かもしれませんが、人口動態など確度の高い中長期的なメガトレンドにのっていると考えております。**流行もの**ではなく、自ら持続的な成長を実現しうるクオリティ・グロース企業は短期的な調整局面を乗り越えてくれると信じております。足元ご迷惑をかけておりますが長期投資をご継続いただけますと幸いです。



REFINITIV LIPPER
FUND AWARDS

2022 WINNER
JAPAN

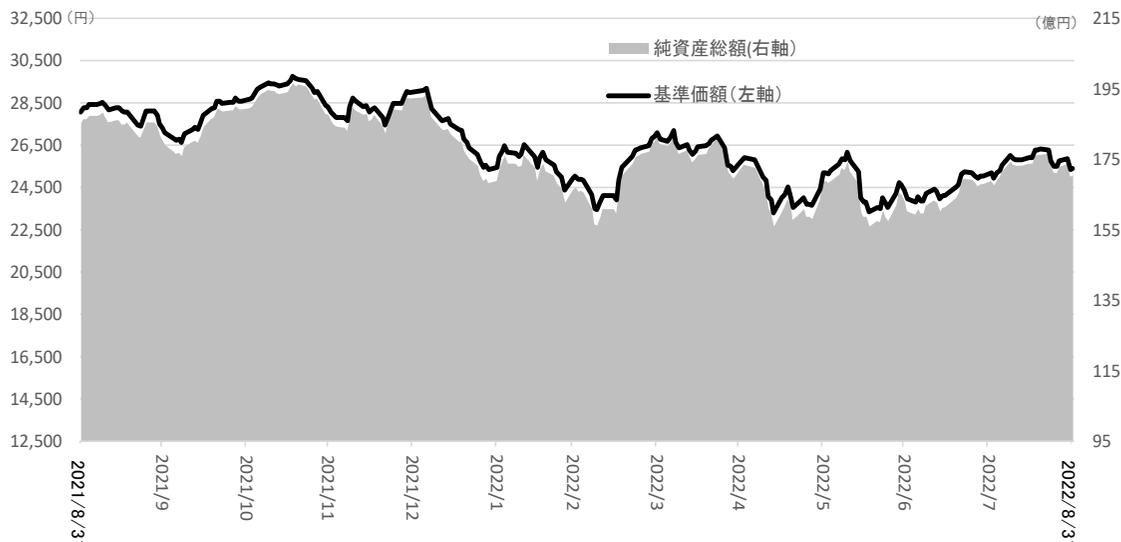
「リフィニティブ・リッパー・ファンド・
アワード・ジャパン 2022」
最優秀ファンド賞を初受賞しました！

「リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワード・ジャパン 2022」の投資信託部門で、最優秀ファンド賞（評価期間：3年 分類：ミックスアセット 日本円 フレキシブル型）を初受賞しました。

運用経過の説明

○期中の基準価額等の推移

【2021年9月1日～2022年8月31日】



期首	期末	既払分配金	騰落率
28,089 円	25,394 円	0 円	△9.6%

(注1) 当ファンドにベンチマークはありません。

(注2) 分配を行っておりませんので分配金再投資基準価額は表示しておりません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当期は、金ETFの「[iシェアーズ ゴールド・トラスト](#)」と「[SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト](#)」、北米の小型株を主な投資対象としている「[アパディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド](#)」、期中に全売却した「アライアンス・バーンスタイン-エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ・ポートフォリオ」のみ上昇要因となり、それ以外のすべての投資先ファンドが当ファンドの基準価額下落要因となりました。特に、欧州株式市場へのエクスポージャーが大きかった「[アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース](#)」「[アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト](#)」「[アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース](#)」については、前期の好調なパフォーマンスから一転、当期は市場平均を大きくアンダーパフォーマンスし、当ファンドの基準価額下落の主要な要因となりました。最後に為替については、[対米ドル、ユーロの両通貨に対して円安が進行し](#)、当ファンドの基準価額下落幅を抑制するかたちになりました。

〇1 万口当たりの費用明細

(2021 年 9 月 1 日～2022 年 8 月 31 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	255 円	0.966%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ※期中の平均基準価額は 26,401 円です。
(投信会社)	(173)	(0.655)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(56)	(0.213)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(26)	(0.098)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.003	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(投資信託受益証券)	(1)	(0.003)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	1	0.005	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用及び金銭信託に係る手数料
合計	257	0.974	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

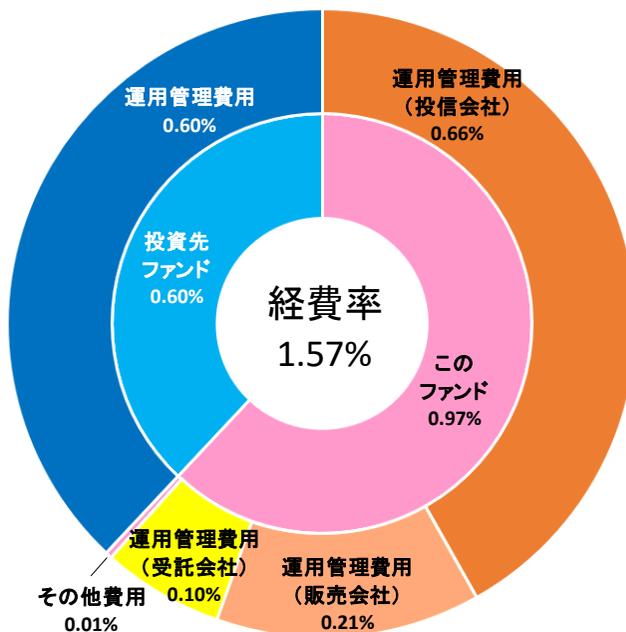
(注2) 各項目の費用は当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注3) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

(参考情報)

経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.57%です。



経費率(①+②)	1.57%
①このファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの経費率	0.60%

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) ②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値です。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。小数点以下第3位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

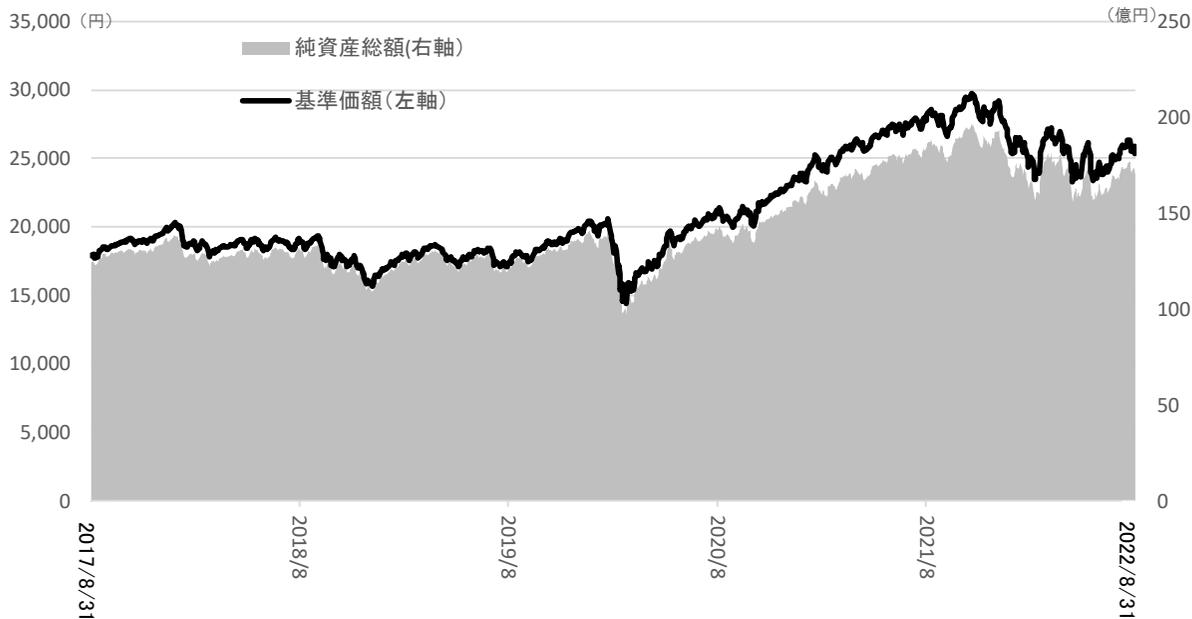
(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

○最近5年間の基準価額等の推移

(2017年8月31日～2022年8月31日)



	2017年 8月31日 決算日	2018年 8月31日 決算日	2019年 9月2日 決算日	2020年 8月31日 決算日	2021年 8月31日 決算日	2022年 8月31日 決算日
基準価額 (円)	17,859	18,975	17,417	20,964	28,089	25,394
期間分配金合計(税込) (円)	—	—	—	—	—	—
基準価額の騰落率 (%)	21.6	6.2	△8.2	20.4	34.0	△9.6
純資産総額 (百万円)	12,385	13,092	12,156	14,087	18,521	17,037

(注1) 当ファンドの運用方針に適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を併記していません。

(注2) 当ファンドは分配金を出していませんので、分配金再投資基準価額の騰落率は表示していません。

(注3) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しております。

○投資環境 (2021年9月～2022年8月)

当期の世界株式市場は、主要な国・地域市場が総じて下落するかたちになりました。特に前期好調だった先進国（日本を除く）が市場を下押ししました。

2021年9月、世界株式市場は数カ月ぶりにリスクを認識する展開で始まりました。[コロナ禍でのサプライチェーンの混乱に伴う物価上昇圧力](#)や、今まで堅調だった米国株式市場の金融政策変更が意識されたこと、中国の中国恒大集団の信用不安なども相まって調整色の強い1ヶ月になりました。

その後11月末にかけて、欧米で決算発表シーズンを迎え、米国の大手テクノロジー企業を中心に好決算が続いたことなどから、投資家マインドが改善し、米国の主要株価指数が史上最高値を更新するなど上昇する展開が続きました。しかし、11月終盤に南アフリカで新たな変異株オミクロンが発見されると、世界株式市場は総じて急落しました。その後年末にかけてオミクロン株の初期データが公表されるにつれて、市場は落ち着きを取り戻し上昇しました。

年が明けてからは、米FRBによる[利上げ](#)やバランスシート縮小が事前のコンセンサスよりも早く進むとの見方が強まったことや、ウクライナ情勢の緊迫化も重なり、調整色の強いスタートになりました。その後も2月終盤にロシアが実際にウクライナへ侵攻を開始するなど、原油や商品市況の変動が意識され全面的なリスクオフの相場展開が続きました。

その後4月から6月にかけては、ウクライナ戦争は長期化する見通しが強まり、マーケットもやや慣れてきたこともあって、株式市場に与えるインパクトは鈍くなっていきました。一方、[コロナ対策](#)の副作用でインフレの長期化が懸念されていた米国では政策金利の大幅な利上げ観測まで出はじめ、金融緩和環境で大きく株価が上昇してきた米国の大手テクノロジー企業を中心に世界株式市場は大きく調整しました。また、中国のロックダウンも投資家マインドを低下させる要因になりました。他方、日本は欧米が金融政策正常化へ舵を切る一方金融緩和への依存を断ち切れないため、[欧米との金利差が意識され、特に対米ドルで大幅な円安が加速](#)されたこともあり、輸出業種の大型企業が多い日本株式市場はこのころから相対的に堅調なパフォーマンスを見せ始めました。

7月から8月中盤にかけて、世界的なインフレ懸念は継続したものの逆にピーク感が見られてきたこともあり、やや楽観相場に振れました。しかし8月後半に米国で開催されたジャクソンホール会議でパウエルFRB議長がタカ派的な姿勢を鮮明にしたことで、マーケットにお灸をすえるかたちになり欧米株式市場を中心に急激に調整して当期末を迎えました。

○当ファンドの運用経過

当期も引き続き株式を主とした国際分散投資を継続しました。当期の主な投資行動としては、今まで成長銘柄を多く有している欧州株式市場へのエクスポージャーをオーバーウェイトしてきましたが、ウクライナ戦争など欧州を中心とした地政学リスクが顕在化していくマーケット環境を鑑みて、やや株価が戻ってきた局面で「[アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース](#)」を一部売却し、欧州株式市場へのエクスポージャーを低下させました。一方、リスクオフ局面による当ファンドのボラティリティ上昇を抑制・分散する効果を考慮し、金ETFの「[SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト](#)」を買い増しました。

(参考情報) 前期末とのファンド組入比率の比較

ファンド名	17期末 組入比率	当期末 組入比率
アリアンツ・バースタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ	19.1%	21.1%
アバディーン・スタンダード・エマージング・マーケット・スモーカーカンパニーズ・ファンド	11.1%	14.4%
アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモーカーカンパニーズ・ファンド	12.5%	13.9%
アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース	8.0%	10.7%
アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース	17.5%	9.6%
アリアンツ・バースタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	8.8%	9.2%
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	9.1%	7.8%
SPDRゴールド・ミニシェアーズ・トラスト	0.6%	4.0%
コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	4.2%	3.9%
iシェアーズ・ゴールド・トラスト	2.1%	2.8%
アリアンツ・バースタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ・ポートフォリオ	5.9%	-
組入ファンド数	11	10

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注3) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に適当な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマーク（参考指数）との対比グラフは表示しておりません。

○分配金

基準価額の水準、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き分配無しとさせていただきます。なお、分配にあてず信託財産内に留保した利益につきましては、運用方針に基づいて運用いたします。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第 18 期 (2021年9月1日～2022年8月31日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,331

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、リスクを抑えながら資産の長期的な成長を目指す投資方針を続けて参ります。日本に限らず世界で活躍する成長企業の成長性を享受できるよう引き続き国際分散投資を徹底いたします。また、丹念な企業調査に基づく伝統的な運用スタイルのファンドを厳選選別し組み入れていくことで、リスクを抑制いたします。

お知らせ

当期中の約款変更について

当期中に実施した約款変更は以下の通りです。

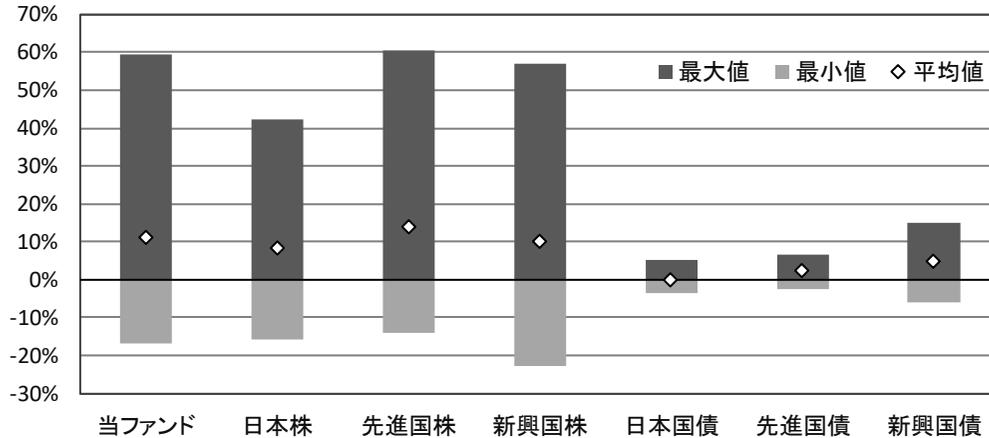
- ① 2021年11月30日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。
- ② 2022年5月31日 当ファンドが投資を行う投資信託証券の変更（信託約款の附則）
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款の附則に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限
運用方針	当ファンドは、投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行ない、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行ないます。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
運用方法	運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。 短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（分配を行わないこともあります。）分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

(参考情報) 当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2017年9月末～2022年8月末)



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	59.5	42.1	60.6	57.1	5.3	6.4	15.0
最小値	-16.8	-16.0	-14.0	-22.8	-3.4	-2.5	-5.9
平均値	11.2	8.3	13.8	10.0	0.1	2.4	4.8

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2017年9月～2022年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

【各資産クラスの指数】

日本株 : TOPIX 配当込み指数

先進国株 : FactSet Market Indices Developed Countries (配当込み)

新興国株 : FactSet Market Indices Emerging Countries (配当込み)

日本国債 : ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債 : 日本インデックス

先進国債 : ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル国債 : G7インデックス (ヘッジなし円ベース)

新興国債 : ブルームバーグ・バークレイズ新興市場自国通貨建て国債インデックス (ヘッジなし円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

※上記指数はファクトセットより取得しています。

※代表的な資産クラスの騰落率はファクトセットのデータベースをもとに、ありがとう投信株式会社が計算しています。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

ブルームバーグ® (BLOOMBERG®) はブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社 (以下「ブルームバーグ」と総称します。) の商標およびサービスマークです。バークレイズ® (BARCLAYS®) は、ライセンスの下で使用されている、バークレイズ・バンク・ピーエルシー (その関係会社と総称して「バークレイズ」といいます。) の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグへのライセンス付与者 (バークレイズを含みます。) は、ブルームバーグ・バークレイズ指数に対する一切の専有的権利を有しています。ブルームバーグおよびバークレイズのいずれも、このマテリアルを承認もしくは支持するものではなく、また、このマテリアルに含まれるいかなる情報の正確性もしくは完全性についても保証するものではなく、明示黙示を問わず、このマテリアルから得られる結果に関していかなる保証も行わず、また、法律上認められる最大限度において、ブルームバーグおよびバークレイズのいずれもこのマテリアルに関して生じるいかなる侵害または損害についても何らの責任も債務も負いません。

当ファンドのデータ

○当ファンドの組入資産の内容

(2022年8月31日現在)

組入ファンド	組入比率
アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ	21.1%
アパディーン・スタンダード- エマージング・マーケット・スモールカンパニーズ・ファンド	14.4%
アパディーン・スタンダード- ノースアメリカン・スモールカンパニーズ・ファンド	13.9%
アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース	10.7%
アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース	9.6%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ	9.2%
アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト	7.8%
SPDRゴールド・ミニシアーズ・トラスト	4.0%
コムジエスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)	3.9%
iシェアーズ ゴールド・トラスト	2.8%
その他(短期金融資産等)	2.6%
組入ファンド数	10銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては運用報告書(全体版)に記載されております。

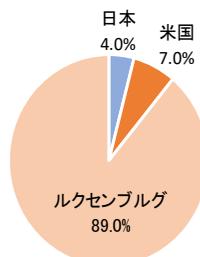
(注3) 小数点以下第2位を四捨五入しております。

(注4) ファンドの正式名称は交付目論見書をご参照ください。

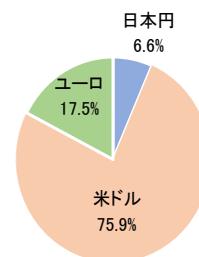
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分(発行国基準)の比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

○純資産等

項 目	第 18 期末
	2022年8月31日
純 資 産 総 額	17,037,405,210 円
受 益 権 総 口 数	6,709,174,452 口
1 万口当たり基準価額	25,394 円

(注) 期中における追加設定元本額は400,566,392円、同解約元本額は285,235,715円です。

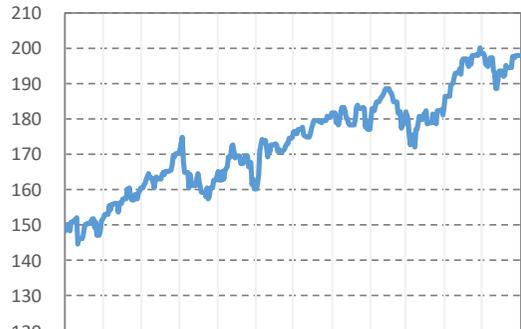
○組入ファンドの概要

以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。詳細な内容については運用報告書(全体版)に記載しております。

アライアンス・バーンスタイン-アメリカン・グロース・ポートフォリオ

◆基準価額の推移

(米ドル)



(2020/6/1)

(2021/5/31)

◆費用明細

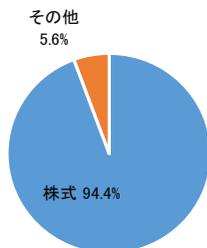
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.70%

◆組入上位 10 銘柄

(2021年5月31日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	Alphabet, Inc. - Class C	米ドル	アメリカ	8.2%
2	Microsoft Corp.	米ドル	アメリカ	7.7%
3	Amazon.com, Inc.	米ドル	アメリカ	5.7%
4	Facebook, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	5.5%
5	UnitedHealth Group, Inc.	米ドル	アメリカ	4.8%
6	Visa, Inc. - Class A	米ドル	アメリカ	4.8%
7	Zoetis, Inc.	米ドル	アメリカ	3.6%
8	Monster Beverage Corp.	米ドル	アメリカ	3.1%
9	Home Depot, Inc. (The)	米ドル	アメリカ	2.9%
10	Intuitive Surgical, Inc.	米ドル	アメリカ	2.7%

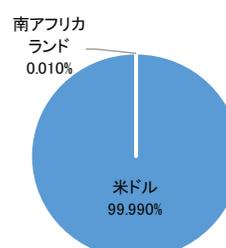
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



アライアンス・バーンスタイン-エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ

◆ 基準価額の推移
(米ドル)



◆ 費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.80%

◆ 組入上位 10 銘柄

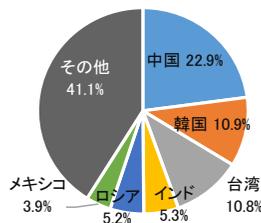
(2021年5月31日現在)

	銘柄名	国/地域/種別	投資比率(%)
1	Tencent Holdings Ltd.	中国	2.6%
2	Samsung Electronics Co., Ltd.	韓国	2.6%
3	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	台湾	2.6%
4	Hana Financial Group, Inc.	韓国	1.6%
5	Hon Hai Precision Industry Co., Ltd.	台湾	1.5%
6	United Microelectronics Corp.	台湾	1.5%
7	China Minsheng Banking Corp., Ltd. - Class H	中国	1.5%
8	JD.com, Inc. - Class A	中国	1.4%
9	Hindalco Industries Ltd.	インド	1.3%
10	Agricultural Bank of China Ltd. - Class H	中国	1.3%

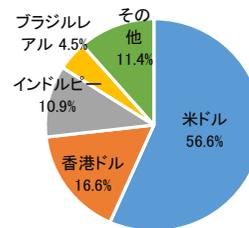
◆ 資産別配分



◆ 国別配分

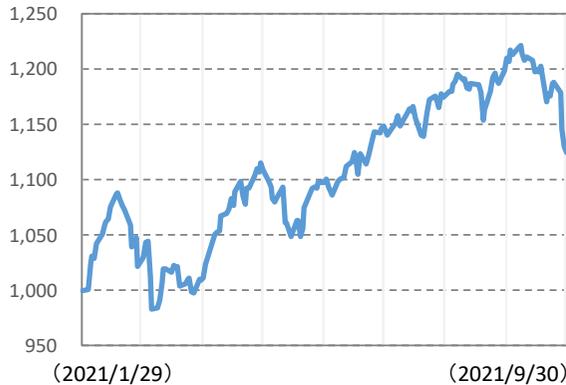


◆ 通貨別配分



アリアンツ・グローバル・エクイティ・グロース

◆基準価額の推移
(米ドル)



◆費用明細

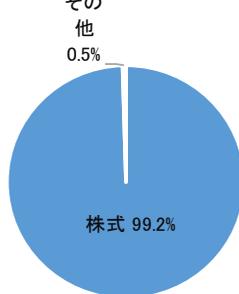
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

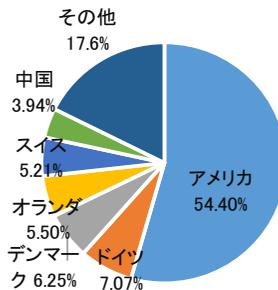
(2021年9月30日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	5.5%
2	MICROSOFT CORP	米ドル	アメリカ	4.8%
3	AMAZON.COM INC	米ドル	アメリカ	4.1%
4	ADOBE INC	米ドル	アメリカ	3.9%
5	S&P GLOBAL INC	米ドル	アメリカ	3.8%
6	VISA INC-CLASS A SHARES	米ドル	アメリカ	3.7%
7	MSCI INC	米ドル	アメリカ	2.9%
8	PAYPAL HOLDINGS INC	米ドル	アメリカ	2.8%
9	DSV A/S	デンマーククローネ	デンマーク	2.3%
10	TENCENT HOLDINGS LTD	香港ドル	中国	2.3%

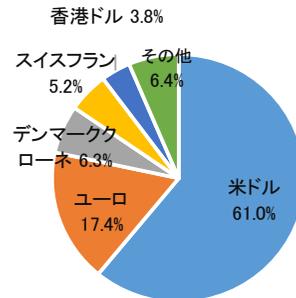
◆資産別配分



◆国別配分

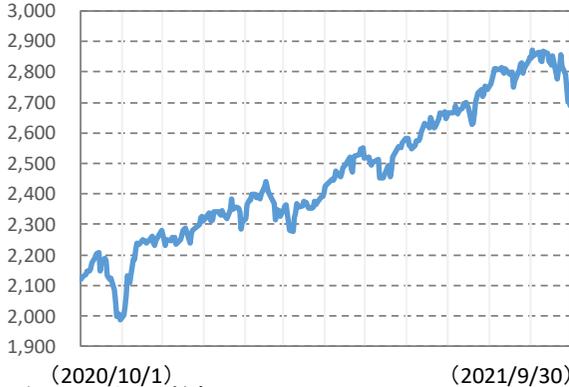


◆通貨別配分



アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース

◆基準価額の推移
(ユーロ)



◆費用明細

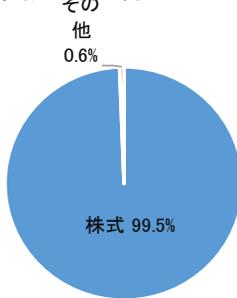
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

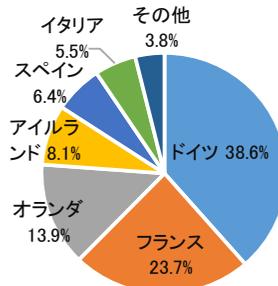
(2021年9月30日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	9.3%
2	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	ユーロ	フランス	6.5%
3	KINGSPAN GROUP PLC	ユーロ	アイルランド	4.0%
4	L'OREAL	ユーロ	フランス	3.5%
5	ADIDAS AG	ユーロ	ドイツ	3.2%
6	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	3.2%
7	WORLDLINE SA	ユーロ	フランス	3.2%
8	NEMETSCHEK SE	ユーロ	ドイツ	3.2%
9	EUROFINS SCIENTIFIC	ユーロ	ルクセンブルク	3.1%
10	DASSAULT SYSTEMES SE	ユーロ	フランス	3.0%

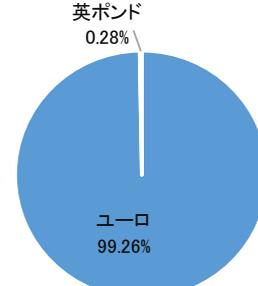
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

◆基準価額の推移

(ユーロ)



(2020/10/1)

(2021/9/30)

◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.45%

◆組入上位 10 銘柄

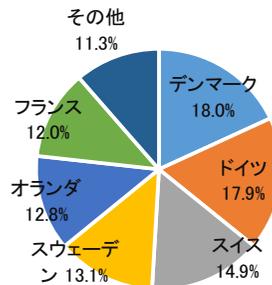
(2021年9月30日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	ASML HOLDING NV	ユーロ	オランダ	9.6%
2	DSV A/S	デンマーククローネ	デンマーク	7.1%
3	INFINEON TECHNOLOGIES AG	ユーロ	ドイツ	5.9%
4	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーククローネ	デンマーク	5.3%
5	SIKA AG-REG	スイスフラン	スイス	4.9%
6	PARTNERS GROUP HOLDING AG	スイスフラン	スイス	4.2%
7	SAP SE	ユーロ	ドイツ	3.9%
8	HEXAGON AB-B SHS	スウェーデンクローナ	スウェーデン	3.8%
9	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	ユーロ	フランス	3.8%
10	ADIDAS AG	ユーロ	ドイツ	3.4%

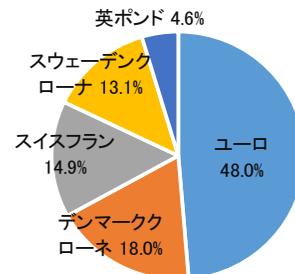
◆資産別配分



◆国別配分



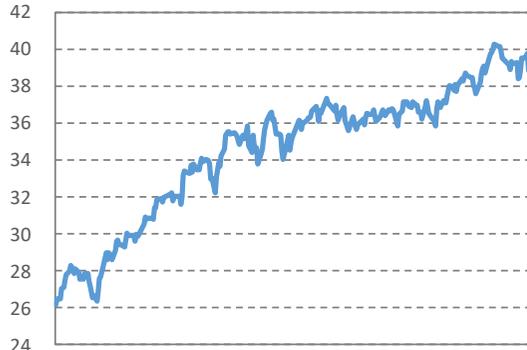
◆通貨別配分



アバディーン・スタンダード・ノースアメリカン・スモラーカンパニーズ・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



(2020/10/1)

(2021/9/30)

◆費用明細

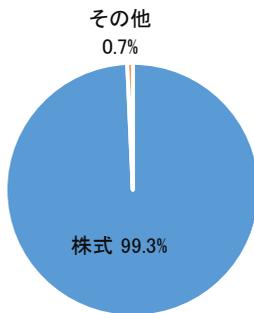
販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.75%

◆組入上位10銘柄

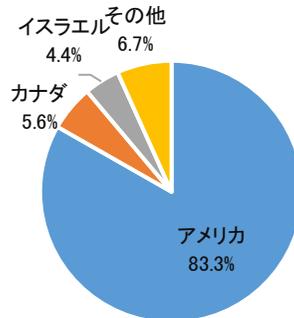
(2021年9月30日現在)

	銘柄名	通貨	国/地域	投資比率(%)
1	LCIインダストリーズ*	米ドル	アメリカ	2.4%
2	PJTパートナーズ*	米ドル	アメリカ	2.3%
3	ファースト・インタステート・バンクシステム	米ドル	アメリカ	2.3%
4	サイバー・アーク・ソフトウェア*	米ドル	イスラエル	2.2%
5	キャセラ・ウェスト・システムズ*	米ドル	アメリカ	2.2%
6	WNS(ホールディングス)	米ドル	アメリカ	2.2%
7	ワーナー・エンタープライゼス*	米ドル	アメリカ	2.2%
8	ハノンアームストロング*サステイナブルインフラ	米ドル	アメリカ	2.1%
9	ストライド*	米ドル	アメリカ	2.0%
10	ペリント・システムズ*	米ドル	アメリカ	2.0%

◆資産別配分



◆国別配分



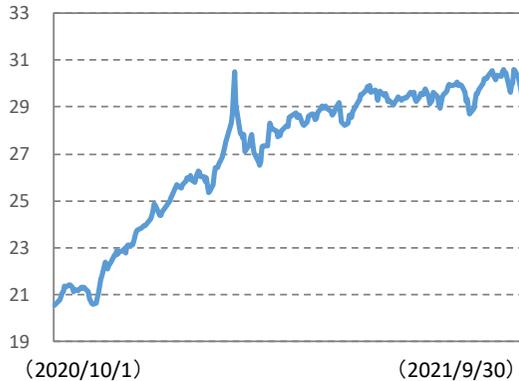
◆通貨別配分



アバディーン・スタンダード-エマージング・マーケッツ・スモラーカンパニーズ・ファンド

◆基準価額の推移

(米ドル)



◆費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.80%

◆組入上位 10 銘柄

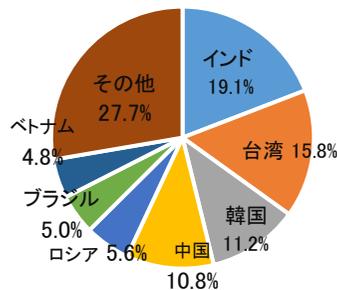
(2021年9月30日現在)

	銘柄名	国/地域	投資比率(%)
1	ASMインターナショナル	オランダ	4.0%
2	ベルガ・グループ	ロシア	4.0%
3	エムファシス	インド	3.7%
4	太平洋航運集団 [パンフィック・ベイسن・シッピング]	香港	3.5%
5	ハンソル化学	韓国	3.3%
6	ピラマル・エンタープライゼス	インド	3.2%
7	FPT	ベトナム	3.2%
8	プレステージ・エステート・プロジェクト	インド	2.4%
9	致茂電子[クロマTE]	台湾	2.4%
10	聚陽実業[マカロット・インダストリアル]	台湾	2.4%

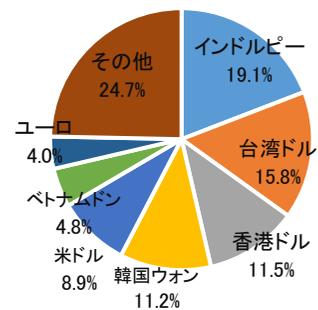
◆資産別配分



◆国別配分



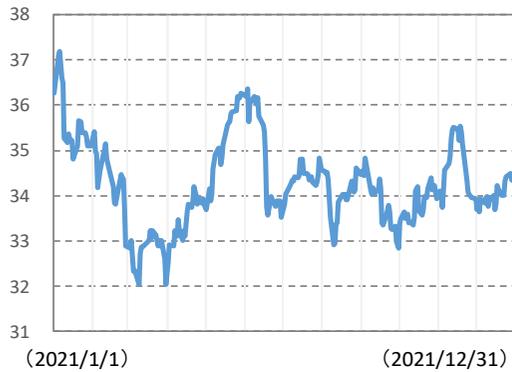
◆通貨別配分



i シェアーズ ゴールド・トラスト

◆ 基準価額の推移

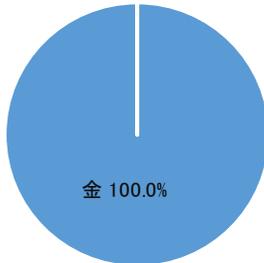
(米ドル)



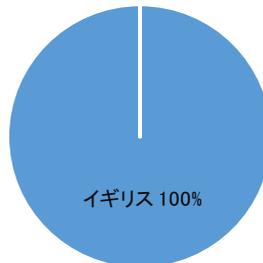
◆ 費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.25%

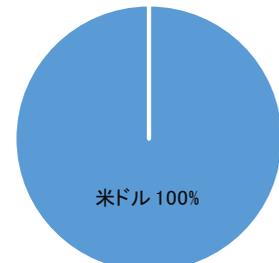
◆ 資産別配分



◆ 国別配分



◆ 通貨別配分



SPDR ゴールド・ミニシェアーズ・トラスト

◆ 基準価額の推移

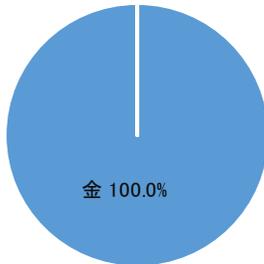
(米ドル)



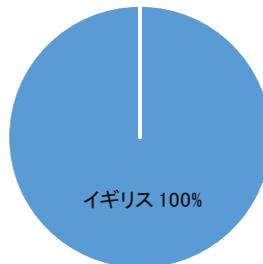
◆ 費用明細

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)
なし	なし	0.10%

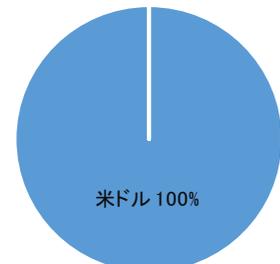
◆ 資産別配分



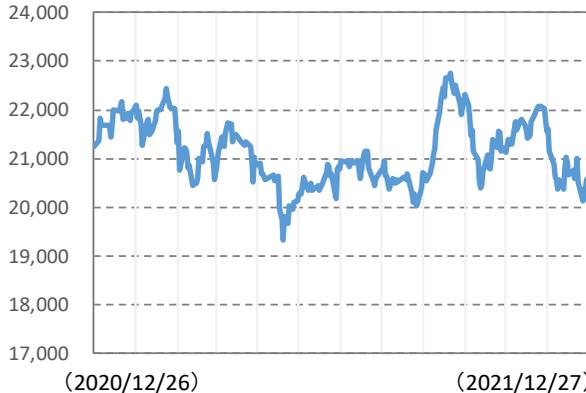
◆ 国別配分



◆ 通貨別配分



コムジェスト日本株式ファンド(適格機関投資家限定)

◆基準価額の推移
(円)

◆組入ファンド

(2021年12月27日現在)

	組入比率
コムジェスト日本株式マザーファンド	99.6%
コール・ローン等、その他	0.4%
組入銘柄数	1銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

◆1万円当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	180	0.860	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(116)	(0.553)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(58)	(0.277)	運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(6)	(0.031)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.028	(b) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(6)	(0.028)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	1	0.005	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.005)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	187	0.893	
期中の平均基準価額は、20,967円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【参考情報】コムジェスト日本株式マザーファンド

※コムジェスト日本株式ファンドの実質的な投資先を明確にするために同ファンドが投資するマザーファンドの運用状況を掲載しております。

◆組入上位 10 銘柄

(2021年12月27日現在)

	銘柄名	国	業種	投資比率(%)
1	シスメックス	日本	ヘルスケア	3.9%
2	ダイキン工業	日本	資本財・サービス	3.8%
3	神戸物産	日本	生活必需品	3.8%
4	村田製作所	日本	情報技術	3.4%
5	キーエンス	日本	情報技術	3.4%
6	FOOD & LIFE COMPANIE	日本	一般消費財・サービス	3.3%
7	信越化学工業	日本	素材	3.2%
8	ダイフク	日本	資本財・サービス	3.1%
9	レーザーテック	日本	情報技術	3.0%
10	サイバーエージェント	日本	コミュニケーション・サービス	3.0%
組入銘柄数				43銘柄

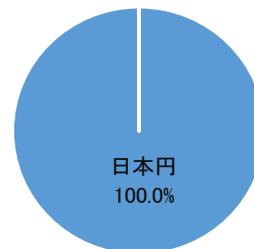
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国は、コムジェストSAの判断によります。

直接販売状況

2022年8月31日決算日現在 有効口座数（※）4,989口座 ※決算日現在残高のないお客様も含まれます。

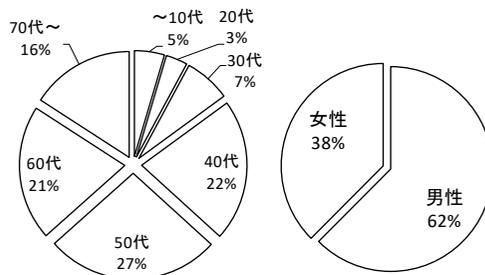
当期末現在で口座数が4,989口座（内法人32口座）となりました。一人当たりの平均保有残高は3,414千円です。当期間の新規口座開設件数は117口座でした。家族・知人の紹介を口座開設のきっかけとされる方が約半数を占めております。一方、口座閉鎖数は62口座となりました。

◆お客様の特徴

年代別では、50代のお客様が27%と最も多く、40代から60代のお客様が全体の約7割となっております。

◆ファンド設定・解約の状況

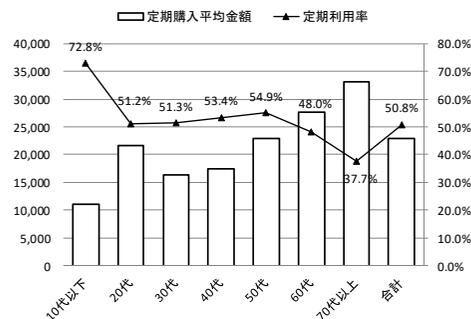
第18期においては、設定金額が1,054百万円、解約金額が754百万円となり、金額ベースで300百万円の純流入となりました。前期に比べて基準価額が下落した中、コツコツと定期積立サービスでファンドを購入されるお客様が半数以上いたことが要因であると考えられます。また、ありがとうファンドの純資産額は、期中平均175億円となりました。



◆定期積立サービス

当サービスをご利用されているお客様の割合は50.8%（分母：有効口座数）。一人当たりの定期購入金額平均は22,908円でした。

長期・国際分散・積立投資は資産形成の王道であります。少額から積立投資を継続することで時間分散によってリスクを抑えながら資産形成ができるので、特にこれから将来に備えていく現役世代の方にご利用をおすすめしております。



◆運用状況を随時お伝えしております。

毎月月上旬発行の月次レポートやありがとうブログ等で運用状況や資産運用に役に立つ情報発信しております。また、資産運用無料個別相談を随時実施しております。今後も引き続きお客様の資産運用を入口から出口まで一生涯サポートさせていただきます。

< 免責事項 | Disclaimer >

リフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。